

Cisco CallManager Express

製品概要

Cisco® CallManager Express は、Cisco IOS® ソフトウェアでの Cisco IP Phone の呼処理を可能にするソリューションです。このソリューションによって、幅広い製品ラインを持つシスコ サービス統合型ルータを使って、ビジネス ユーザーが一般的に使用する IP テレフォニー機能を提供できるようになります。Cisco CallManager Express をシスコ サービス統合型ルータに搭載すれば、費用効果と信頼性の高い IP コミュニケーションソリューションを展開でき、中小規模のオフィスの要件を満たすことができます。

中小規模のサイトへの IP テレフォニーを展開するにあたって、Cisco CallManager Express は、設定、管理、および維持が非常に簡単なソリューションとなります。Cisco CallManager Express では、最大 240 ユーザーまでの低コストで高い信頼性と豊富な機能を備えたテレフォニーソリューションをお探しのお客様に最適です。

主な機能と利点

IP テレフォニーには、これ以外の方法では実現できない付加価値機能やアプリケーションがあります。これらの機能への需要が高まっていることから、現在、IP テレフォニーは驚異的な成長を続けています。また、音声/ビデオ/データを単一のネットワークに統合することによるコスト面のメリットも、このテクノロジーの急速な普及に拍車をかけています。さらに、IP テレフォニー機能をルータに統合する Cisco CallManager Express ソリューションには、次のような独特な利点があります。

- **ブランチ オフィスに必要とされる音声およびデータのサービスを単一のプラットフォームに統合することによる費用効果の高い運用** — 2800 や 3800 シリーズなどには、信頼性の高いサービス統合型ルータとしての実績があります。これらのプラットフォームでは、強力な Quality of Service (QoS; サービス品質)、ネットワーク セキュリティ、暗号化、ファイアウォールのほか、各種ネットワーク モジュールによるコンテンツ ネットワーキングや拡張 VPN サービスなど、ブランチ オフィスおよび小規模オフィスのビジネス ニーズに対応した業界最高クラスの機能をすでに提供しています。これにより、IP テレフォニー、ボイス メール、自動応答といった機能が統合できるようになりました。したがって、1 台のデバイスだけですべてのビジネス ニーズに対応でき、管理、メンテナンス、および運用が簡潔化され、総所有コスト (TCO) が低減されます。
- **洗練されたキー システムと PBX 機能** — 小規模オフィス向けのシステムでは、それぞれの業務形態に合わせた機能をサポートする必要があります。Cisco CallManager Express は、小規模オフィスに適したテレフォニー機能を提供するほかに、エンドユーザーおよびビジネスの生産性を向上させる付加価値機能を Extensible Markup Language (XML) を使って実装できます。このような機能拡張は、従来のソリューションでは実現できません。
- **Cisco CallManager とのインターオペラビリティ** — Cisco CallManager Express は Cisco CallManager との相互接続が可能であるため、比較的大規模なサイトに Cisco CallManager を配置し、ローカルな呼処理が必要となるブランチ オフィスには Cisco CallManager Express を配置できます。H.323 トランッキングを使用することで、発信先の名前と番号情報、さらに WAN 帯域使用の効果を高める圧縮音声に基づき、コールを WAN 経由でルーティングできます。
- **中央集中型呼処理ソリューションへの容易なアップグレードと投資保護** — Cisco CallManager Express を搭載したルータのソフトウェア コンフィギュレーションを変更するだけで、そのルータは、中央集中型 Cisco CallManager 展開アーキテクチャにおけるリモート サイト用のハイ アベイラビリティで強固なテレフォニー ゲートウェイになります。このような柔軟性を備えているため、ビジネスの成長によってシステムのキャパシティが不足した場合にも、完全な投資保護を保証できます。
- **Cisco IOS ソフトウェアの CLI または Web ベースの GUI を使用したリモート メンテナンスとトラブルシューティング** — Cisco CallManager Express の設定および管理には、業界標準の Cisco IOS ソフトウェア CLI (コマンドライン インターフェイス)、または使いやすい GUI (グラフィカル ユーザー インターフェイス) のどちらも使用できます。

- ルータによる IP Phone とアナログ電話の呼処理**—Cisco CallManager Express を使用することで、シスコ サービス統合型ルータはローカルに接続された IP Phone とアナログ電話の呼処理が可能になります。IP Phone に必要なファイルとコンフィギュレーションはすべてルータ内部に格納されるため、単一のプラットフォーム ソリューションとなります。また、シスコの IP テレフォニー ソリューションには、PSTN（公衆交換電話網） インターフェイス、各種 WAN インターフェイス、ボイス メールと自動応答機能、電話機などが用意されています。Cisco IOS ソフトウェアでは、Cisco CallManager Express を組み込むことで、H.323 シグナリング、SIP シグナリング、拡張 QoS、H.323 ゲートキーパー、SIP プロキシサーバとの連携動作など、IP ベースの電話システム向けに設計された業界最高の堅牢な音声機能を提供できるようになります。さらに、CSU/DSU（チャンネル サービス ユニット / デジタル サービス ユニット）や Network Termination 1（NT1; ネットワーク終端 1）デバイスなどについては、PSTN インターフェイス カードでサポートされているため、柔軟で堅牢な音声サービスが提供できます。

IP Phone のサポート

Cisco CallManager Express は通常、200 ユーザ未満の環境に適していますが、プラットフォームによっては最大 240 台までの IP Phone をサポートできます。Cisco CallManager Express における IP Phone の管理方法は Cisco CallManager によく似ているため、ビジネスの成長に伴って Cisco CallManager Express ソリューションから Cisco CallManager へ移行する際も、ユーザは操作を簡単に習得できます。表 1 に、CallManager Express 3.3 を装備した各プラットフォームでサポートされる電話機の最大数を示します。

表 1 プラットフォームごとのサポートされる IP Phone 数

プラットフォーム	電話機の最大数
Cisco ISR 2801、1760-V および 1751-V アクセス ルータ	24
Cisco ISR 2811、261xXM および 262xXM シリーズ アクセス ルータ	36
Cisco ISR 2821、265xXM アクセス ルータ	48
Cisco 2691 アクセス ルータ	72
Cisco ISR 2851	96
Cisco 3725 アクセス ルータ	144
Cisco 3745 アクセス ルータ	192
Cisco ISR 3825	168
Cisco ISR 3845	240

図 1 Cisco IP Phone ファミリー



Cisco CallManager Express は、次の Cisco IP Phone モデルをサポートしています：7971G-GE、7970G、7960G、7940G、7912G、7905G、7902G、Wireless Phone 7920、7914 拡張モジュール、IP Conference Station 7936。これらの次世代のインテリジェントな Cisco IP Phone（図 1）では、次の拡張機能をサポートしています。

- 使いやすいソフトキーなどのディスプレイを使った機能
- 各国語対応と、XML ベースのアプリケーション サポートによる機能のカスタマイズ
- Cisco Catalyst スイッチと、Cisco ISR 2800/3800 シリーズと Cisco 3700 シリーズ ルーターで使用可能な Cisco EtherSwitch[®] ネットワーク モジュールまたは高速 WAN インターフェイス カードからのイーサネットを経由した給電（Cisco Power over Ethernet）

製品の機能

Cisco CallManager Express は、洗練されたキーシステムと PBX テレフォニー機能を、中小・中堅企業やブランチ オフィス向けに提供するように設計されています。また、従来のテレフォニー ソリューションでは提供できない、固有の機能もあります。現在、Cisco CallManager Express バージョン 3.3 で提供している機能を表 2 に示します。最新の IOS バージョンについては、<http://www.cisco.com> の Feature Navigator で確認してください。

表 2 CallManager Express 3.3 の機能

機能	説明
電話機の機能	システムごとに最大 240 台の電話機、電話機ごとに最大 34 回線の通話、7914 を使用した応答コンソール機能、高速転送（ブラインドまたはコンサルテーション）、通話中ランプ、無音呼び出しオプション、発信コールの自動回線選択、通話中 / 不在時 / すべてのコール転送、コール転送時にすべてを限定制御、着信拒否（DND）、DND セットを使用したフィーチャセット、IP Phone ディスプレイによる DND ステータスの表示、コールの VM への直接転送、ソフトキーのカスタマイズ、回線ごとのコール ウェイティング通知のイネーブル / ディセーブル、ボタンごとの二重回線通話、営業時間外料金の制約無効、欧州式の日付形式、アナログ PSTN トランクでのフック フラッシュ パススルー、アイドル URL（IP Phone にメッセージまたはグラフィックを定期的に表示）、最後にかけた番号のリダイヤル、ローカル ディレクトリの検索、オンフック ダイヤル、ステーション短縮ダイヤル、システム短縮ダイヤル、IP Phone からの短縮ダイヤル設定の変更、無音呼び出し / 呼び出し音のオプション、スキニー モードの Cisco Analog Telephone Adapter (ATA) または SCCP モードでの VG 224 ゲートウェイを使用したアナログ電話機のサポート、FXS ポートまたは H.323 モードの ATA でのファックスのサポート、Cisco IP Phone での XML サービス
トランクの機能	アナログ FXO（ループ スタートおよびグラウンド スタート）、DID、E&M、BRI/PRI サポート（NI2、4ESS、5ESS、EuroISDN、DMS100、DMS250、および Cisco IOS ソフトウェアで現在サポートされているその他のスイッチ タイプ）、発信者 ID、Automatic Number Identification (ANI; 自動番号識別)、発信者の名前、デジタルトランクのサポート（T1/E1）、ダイヤルイン、ダイヤルアウト、E1 R2 のサポート、電話機のボタンへの専用トランクのマッピング、H450 による H.323 トランクのサポート、リモート H323 エンドポイントに対する H450 サポートの H450.12 自動検出、H.450 非準拠の H323 エンドポイントに対応する H.323 から H.323 に対する H450 ヘアピン コール ルーティング、Session Initiation Protocol (SIP) トランクおよび RFC 2833 のサポート、G.711/G.729a/G.723 のトランスコーディング
システムの機能	アカウント コードおよび Call Detail Record (CDR; コール詳細レコード) フィールドのエントリ、通話中の場合のコール バック / キャンプオン、コールの保留および復帰、転送保留（個人番号および転送先）、特定の内線番号への着信コールのピックアップ、ローカル グループへの着信コールのピックアップ、特定のグループへの着信コールのピックアップ、通話転送（コンサルテーションおよびブラインド）、コール ウェイティング、三者会議、Cisco IOS Telephony Service Provider (TSP) を使用する Microsoft CRM および Outlook による Computer Telephony Integration (CTI; コンピュータ テレフォニー統合)、XML を使用したディレクトリ サービス、ハント グループ（順次 / 循環 / 最長のアイドル時間）、ハント グループのダイナミック ログイン / ログアウト、ハント グループの統計情報（日単位および時間単位）、インターコム、言語サポート（ドイツ語 / フランス語 / イタリア語 / スペイン語 / ポルトガル語 / オランダ語 / デンマーク語 / ノルウェー語 / スウェーデン語 / 日本語 [カタカナ] / ロシア語）、保留音（MoH）（内線または外線）、夜間サービス ベル、通話範囲を拡張するための内線のオーバーレイ、内線のオーバーレイに対応する呼び出し先の名前表示、ページング（組み込み型または外部システム）、コール単位の発信者 ID ブロッキング、セカンダリ ダイヤル トーン、H450.2 および H450.3 を経由した標準ベースのネットワーク通話転送とコール転送、XML サービスを使用したシステム短縮ダイヤル オプション、時間 / 曜日別のコール ロッキング、カスタマイズ可能な呼び出し先の名前表示、Auto-Attendant およびコール統計を使用した Basic ACD（3 キュー）
ボイス メールの機能	Cisco Unity Express* を使用したボイス メールおよび Auto-Attendant ソリューション、Cisco Unity ボイス メール / ユニファイド メッセージングとの統合、サードパーティ製ボイス メールとの統合（H.323、SIP、または Dual Tone MultiFrequency [DTMF; デュアル トーン多重周波数]）
管理機能	IP Phone への内線番号の自動割り当て、システムおよびボイス メールの移動 / 追加 / 変更が可能な Web ベースの GUI、Cisco CNS Configuration Engine を使用した中央集中型のネットワーク管理展開、HTML Quick Configuration Tool を使用したテレフォニー サービスのセットアップおよび設定、システム管理者 / カスタマー管理者 / ユーザの 3 レベルでの GUI 管理

* Cisco Unity Express は日本リリース準備中

まとめ

Cisco CallManager Express は、中小規模のオフィスに IP テレフォニー ソリューションを展開するのに必要な機能を提供します。また、シスコのサービス統合型ルータは、VPN、ファイアウォール、暗号化、ダイヤル アクセス、Power over Ethernet を伴うイーサネット スイッチング、コンテンツ ネットワーキングなどの最先端アプリケーションを、単一のプラットフォームで提供します。これにより、展開と維持が容易になるため、総所有コスト (TCO) が低減されます。

ビジネスの成長によって大規模な IP テレフォニー ソリューションが必要になれば、Cisco CallManager Express から、Cisco CallManager への移行も容易にできます。このソリューションで使用されるハードウェアとソフトウェアはすべて、Cisco CallManager および Cisco Survivable Remote Site Telephony (SRST) と完全に互換性があるため、お客様の投資を保護できます。ビジネスの成長によって大規模な IP テレフォニー ソリューションが必要になれば、Cisco CallManager Express から、Cisco CallManager への移行も容易にできます。このソリューションで使用されるハードウェアとソフトウェアはすべて、Cisco CallManager および Cisco Survivable Remote Site Telephony (SRST) と完全に互換性があるため、お客様の投資を保護できます。

©2005 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、および Cisco ロゴは米国およびその他の国における Cisco Systems, Inc. の商標または登録商標です。この文書で説明した商品、サービスはすべて、それぞれの所有者の商標、サービスマーク、登録商標、登録サービスマークです。この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ株式会社

URL: <http://www.cisco.com/jp/>

問合せ URL: <http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

〒 107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL: 03-6670-2992

電話でのお問合せは、以下の時間帯で受付けております。

平日 10:00 ~ 12:00 および 13:00 ~ 17:00

お問合せ先